

NCS

Nature Conservation
Society of Hokkaido

HOKKAIDO

2012年7月 NO.154

…… CONTENTS ……

白神山地の四季……………石川 幸男…… 2
旭川市・常磐公園の樹木伐採問題……出羽 寛
…………… 4
2012年度 通常総会の概要及び会計報告…… 6
2012年度 自然保護講演会開催のご案内……10

2012年度 「自然を語る会」などのお知らせ…11
お知らせコーナー……………12
活動日誌・要望書など・新入会員紹介・
寄贈図書紹介・寄付・会費納入のお願い 他



藻岩山頂上風景 10台以上の自動販売機と申し訳程度の太陽光・風力発電設備がある (撮影 福地郁子)

白神山地の四季 —新参者のどたばた1年間—

石川 幸男 (当協会理事、弘前大学白神自然環境研究所)

諸般の事情から30年間住み慣れた北海道を離れ、地球温暖化の傾向に逆向して昨年3月28日に弘前に来てからまだ1シーズンとちょっとなので、豊かな白神山地の四季をちゃんと分かっているかどうか不確かです。それでも編集部のご指示なので、この1年間の経験をお知らせします。

春の白神はとても賑やかです。わたくしが勤務する研究所は白神世界自然遺産の青森県側の東の入り口である暗門の滝地区にほど近い西目屋村川原平(かわらたい)に位置します。研究所には約18haの観察園も附属しており、4月初めともなるとブナが展葉を開始し、ほどなくカタクリ、キクザキイチゲやシラネアオイなどが林床を彩ります。昨年の春は一刻も早く植物を覚えたくて、観察園やその周囲の林道を歩きまわりました。主に北海道のブナ林より北で調査をしてきた身の上からはクブシやリョウブも珍しかったので見つけては騒いでいたところ、「なんでそんなふつうの樹木を見てうれしいの」と同僚から笑われました。



賑やかなのは植物だけではありません。春の白神は地元の人たちで本当に賑やかです。山菜とりの情熱は半端ではなく、タラノキの新芽があったらちょっといただこうと思って林道をたどっても、タラノキというタラノキはすべて、すでに先端の芽を取られた後で、わたくしがゲットする余地はありません。もっとも、タラノキを欲しがっていると「先生、タランボなんか食べるの?」と鼻で笑われ、本当の通はコシアブラを取るのだそうです。実際に地元のスーパーに行くと、トレイにきれいに並べられてコシアブラの新芽が売られています。また山では、ワラビ、ゼンマイやネマガリタケなどをごっそり積んだ軽トラックやジムニーが、わたくしのランクルでは通れない、崩落しかかった林道などなんのそのといった調子で、朝から晩まで走り回っています。それから山菜といえば、ミズを忘れるわけにはゆきません。ミズといっても標準和名のミズではなくウワバミソウですが、青森県民は驚異のミズ好きです。春から秋までずーっと、軽トラに満載して山から里へと運んでいます。

豊かな白神の自然を味わうのはやぶさかではないので、6月末には近くのヤマグワに果実がなるのを楽しみにしていたところ、その時期には定期的に研究所の周囲をパトロールに来ていたサルにみんな食べられてしまったこともありました。6月末といえばサル以外にも、恐れていた梅雨もやってきました。関東出身の同僚は弘前の梅雨なんて本物の梅雨じゃないというもの、そもそも梅雨のない北海道からやってきたわたくしとしては(生まれは東京ですが、そんな昔のことは忘れた)、寝苦しい夜が続きました。しかし、たしかに危惧していたほどの暑さではなく、いつの間にか終わっていたというのが真実で、寝苦しかったのは、のんびりしていた短期大学から国立大学に移籍し、校務が山ほどあっていささかこなせなくなっていたことが原因だったのかも知れません。

そうこうするうちに7月になり、6月から連続していた自然観察会などが引き続いて多かったのでこの月もあ

っという間に過ぎました。翌月の8月は、初旬に大学で山車を出した弘前ねふた（たしか50回近く連続参加だそうです）にわたくしも山車引きとして参加したあとは、すぐに知床世界遺産の調査に出かけて半分以上は北海道にいました。そのため、印象が薄いままに弘前の夏が終わってしまうと嘆いていたところ、9月になってもちっとも涼しくならないので幸いなことに夏らしさを味わったつもりですが、それが本当の夏らしさかどうかはわかりません。

さて、白神の紅葉がどんなものかととても期待していたのですが、国際シンポジウムを10月の終わりに企画・主催することになりました。国際シンポとくれば自然を愛でている余裕もなく、その月はあっという間に下旬の開催日となって、終わってみればくたびれ果てて11月に突入しました。このため、紅葉がどんな様子なのかちっとも分からなかったものの、初旬に印象深い出来事がありました。研究所で非常勤の管理人をしているSさんがある朝、「先生、クマ来てたぞ」というのでした。彼が言うには、研究所に通じる未舗装道路の向こう側の縁に積もった落葉を鼻先でかき分け、ドングリを探していた跡が残っているとのことだったので、見ればなるほど、くっきりとあっちこっちへ行った跡が残っていました。わたくしたちのフィールド活動の師匠の目と経験はとても確かなもので、どこに行ったら魚が釣れるか、どこにいったらカモシカが見られるか、またかつて金を掘っていた古への津軽鉤山の坑口がどこにあるかなどなど、地元のことなんでも教えてくれるのです。



ツキノワグマが餌を探した跡

思っていた以上に白神でも冬は足早にやってきました。北海道に比べても雪の降り始めはそれほど遅くはなく、11月20日過ぎにはしっかりと積ったので、研究所は月末で冬季の閉鎖になりました。そしてその後は翌年3月末までわたくしたちは冬眠したのでした……ということであれば最高なのですが、分室なるものが弘前市内の大学キャンパス内にあるので、週に1、2回は研究所に見回りに行く以外は、そこが居場所というわけです。

弘前の雪は大したことはなく、この前のひと冬で本気でアパートのパーキングを除雪したのは4回程度で、それも1回当たり30分くらいでした。とはいえ、なんとも除雪体制が整っていないので、道路は大渋滞を繰り返しました。なにせ、もともと城下町で道路が狭いうえに、積もった雪をなかなか排雪しないので歩道が歩けなくなるために、歩行者、自動車（たまに自転車）が車道で渾然一体となるのです。一方、西目屋の研究所ではこの冬は積雪が2mを超えました。赴任早々の昨年は4月1日には車で研究所前まで行けたものの、今年は4月にはいっても雪が消えず、前まで車で行けたのは16日でしたので、昨年に比べて2週間遅れということになります。とはいえ、雪が融けてみればカタクリやキクザキイチゲは再びすばやく顔を出し、6月初めの現在、白神の森ではエゾハルゼミの合唱がフルボリュームになっています。

こうして1年間、あっという間に過ぎてゆきましたが、出来事を書いてみると書ききれないことがまだまだたくさんあり、白神の四季の豊かさが感じられます。みなさん、是非白神の自然を見にいらしてください。研究所の観察園は立ち入り自由ですので、心よりお待ちしております。

旭川市・常磐公園の樹木伐採問題

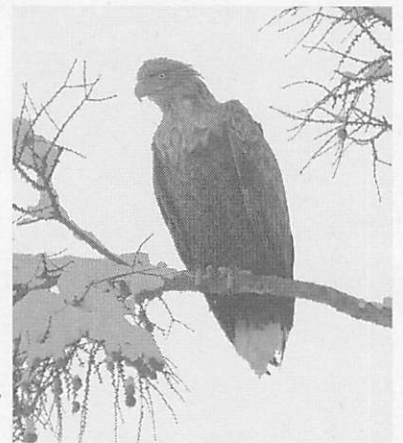
出羽 寛 (当協会理事、オサラッペ・コウモリ研究所)

旭川市の常磐公園は大正5年(1916)に開設された市内で最も古い歴史のある総合公園(面積15.9ha)で、ドロやハルニレ、ニセアカシア等の大木が多く、まさに市街地中心部にある緑のオアシスである。旭橋、石狩川に隣接、中央に千鳥が池、広場、上川神社頓宮と道立美術館、図書館、公会堂等の施設等があり、緑の多い7条緑道を通じて、買い物公園に繋がっていく。

今、石狩川堤防の公園側斜面の樹木210本を伐採するという計画が持ち上がっている。昨年9月20日、地元紙あさひかわ新聞一面に「石狩川の堤防を緩傾斜化、常磐公園内の樹木伐採を計画」の記事が載った。目的は、「常磐公園と一体となった水辺利用を可能にする、来訪者の利便性を高めるための河川敷の駐車場の拡充・整備、オープンカフェやイベント用のオープンスペースの確保等、市民の憩いの場を作る」ためだという。上位計画の旭川市かわまちづくり計画、中心市街地活性化計画、文化芸術ゾーン基本構想(常磐公園地域)があり、その中の事業として「常磐公園改修事業基本計画検討懇談会で大量伐採に賛否の議論が交錯している」という。この記事を見て多くの市民はびっくり。早速、「常磐公園の自然を考えるなまか」、「ときわの森ファンクラブ」、「旭川隣保会父母の会有志」が、100年かけて作られ慣れ親しんだ風景をなくす必要があるのか。市民に改修計画を十分に知らせていない、春にヨモギを摘んでヨモギ団子を作る場所だ、等の意見書、要望書を提出し、大量伐採反対の署名活動を始め、約2ヶ月で3団体あわせて、1万筆以上の署名を市と開発局へ提出した。

当初、市は今年2月までに基本計画の決定、策定を行う予定だったが、懇談会での議論と市民の反応の大きさから、10月には3回にわたる市民説明会を急遽開催、検討期間を1年間延期、公園と堤防部分の改修を切り離して検討することを決め、3月に「常磐公園の緑の計画(案)」を公表した。その後市民へのアンケート調査、パブリックコメントを求めた上で、「常磐公園の緑の計画」を策定、築堤部分の改修計画も含め、今年10月までに結論を出すとしている。

問題点は何か。市は堤防へ上がる階段が急で危険、老木が多く事故が起きたらどうするのか、堤防の樹木は洪水時に危険、等を根拠にする。しかし、階段部分のみを緩傾斜化すれば良いのでは。老木が多く更新は必要だが一挙に210本を切る必要はない。堤防斜面の樹木は数十年かけて順次危険木を伐採、堤防下に植樹していけばよい。補助金を出す国交省(開発局)も洗掘対策区間ではあるが治水上緊急性はないとしている。「常磐公園の緑の計画(案)」についても、園芸的、技術的な視点が強調されすぎている。常磐公園のまとまった樹木群は



旭川市の緑地の連続性からも大事である。もっと自然生態系や生物多様性の視点から見た現代の都市公園のあり方からの検討が必要だ等、多くの市民、検討懇談会の委員からも指摘されている。千鳥が池の水の浄化、水生植物を植え、魚やスジエビ、トンボを増やし、子どもがもっと遊べる場所に、花火大会と冬まつり会場以外には市民が利用しないコンクリートで固められた河川敷を変えてほしい等々、市民からの様々なアイデアをもっと取り

入れてほしい。それにしても市の常磐公園改修の本当の目的は何なのか？詳しい経過は「ときわの森ファンクラブ」のブログ <http://blog.livedoor.jp/rakkohokkaido/?p=2> と旭川市のホームページを参照。



千鳥が池から見た常磐公園。ポプラをはさんで、左端から右端まで伐採予定
撮影 吉木俊司氏（ときわの森ファンクラブ代表）



緑のオアシス 常磐公園 楕円部分が石狩川堤防の伐採区間

伐採予定木（市の計画）：堤防緩傾斜化予定地内の樹木数は約300本。その内210本を伐採。

樹木の種類（大雪と石狩の自然を守る会調査、伐採予定地 350m × 50m 区間、194本）

在来種 18 種（エゾヤマザクラ 36%、ハルニレ 16%、イタヤカエデ 11%等）

外来種 8 種（ハリエンジュ 48%、ヨーロッパアカマツ 13%、ヨーロッパトウヒ 11%等）

*大雪と石狩の自然を守る会の調査範囲は市の緩傾斜化予定地より狭いため本数が少ない

2012年度 通常総会の概要及び会計報告

日時：2012年5月12日(土) 13:00～15:15

会場：北大学術交流会館 第1会議室(札幌市北区北8条西5丁目)

議長：長谷川雄助さん

資格審査委員・議事運営委員：伊達佐重さん、池田透常務理事、大館和広さん、赤松敏子さん、星野フサさん

書記：矢部理事、荻田理事 議事録署名人：佐々木副会長、在田副会長

佐藤会長挨拶

今日の総会は、年1回、皆様と意見を交換する貴重な場です。忌憚のないご意見をお願いします。いま、原発問題にみられるようにメリットだけ言い、デメリットは話させない世の中の風潮があります。原発に替わる風力発電でも同じで、デメリットを話させないような状況にあります。これでは良い知恵が生まれてこない。そんな一方的で閉塞的な状況があります。そのため、皆で意見を言い合って建設的な方向を見つけたいと強く感じています。協会もいろいろな角度から意見を出し合って健康的な団体であり続けたいと思っています。さて、去年の段階で新法人の定款を決めていただきましたが、この4月1日に新しい一般社団法人として登記が完了しました。社団法人から一般社団法人に名称が変わっても、当協会の自然を守るという公益性は全く変わっていません。今日は、どうぞよろしくをお願いします。

資格審査結果報告(伊達資格審査委員長)

総会員数は621名(過半数は311)の内、会場出席者数29名、委任状提出者324名、合計353名となり定款の規程による定足数を越えていることが確認され総会は成立。

3. 第1号議案 2011年度事業報告 および2号議案 2011年度収支決算報告および監査報告

2011年度の事業報告について、佐藤会長から議案書に基づき1会員の状況、2広報事業、3普及事業、4調査研究および自然保護運動の順に、概略を説明した。

佐藤会長(総会議案書に掲載されている2011年度一般事業の内容について、1会員の状況、2広報事業、3普及事業、4調査研究および自然保護運動の順に、概略を説明した。)

会員の状況については現在621名で昨年度より30名以上減少しています。これは会員の高齢化による自然減と考えられますが、今後会員の確保・拡大を務めたいと思います。広報事業についてはホームページの向上について

◇議案2：2011年度決算

決算報告(2011年4月1日～2012年3月31日)

一般会計

(円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 勘定科目 | 決算額 | 勘定科目 | 決算額 |
| (特定資産運用益) | (3,234) | (事業費) | (3,471,542) |
| 預金利息 | 3,234 | 給与手当 | 700,044 |
| (会費収入) | (3,363,500) | 諸謝金 | 282,500 |
| 個人会費 | 2,306,000 | 会議費 | 9,000 |
| 団体会費 | 1,057,500 | 旅費交通費 | 170,606 |
| (事業収入) | (247,000) | 通信運搬費 | 387,355 |
| 普及啓発事業収入 | 247,000 | 消耗品費 | 7,868 |
| その他収入 | 0 | 印刷製本費 | 1,070,071 |
| (寄付金収入) | (228,000) | 水道光熱費 | 90,892 |
| 寄付金 | 228,000 | 賃借料 | 685,680 |
| (雑収入) | (141,997) | 図書研究費 | 2,500 |
| 受取利息 | 1,997 | 支払手数料 | 945 |
| 雑収入 | 140,000 | 雑費 | 64,080 |
| | | (管理費) | (1,238,631) |
| | | 給与手当 | 466,696 |
| | | 法定福利費 | 3,552 |
| | | 会議費 | 13,000 |
| | | 旅費交通費 | 83,600 |
| | | 通信運搬費 | 30,183 |
| | | 消耗品費 | 4,171 |
| | | 印刷製本費 | 45,980 |
| | | 水道光熱費 | 90,892 |
| | | 賃借料 | 430,608 |
| | | 諸会費 | 54,000 |
| | | 支払手数料 | 5,020 |
| | | 雑費 | 10,930 |
| 収入合計(A) | 3,983,731 | 支出合計(B) | 4,710,173 |
| | | 当期経常増減額 | △ 726,442 |

は反省すべき点を感じています。会誌・会報については、この20年来、質が下がることなく向上していると思います。普及事業については質を下げず、回数を減らさないよう努力しています。調査研究および自然保護運動については全体的にダムに関する意見が大半を占めています。それと風力発電建設によって貴重な自然が壊される問題がもう一つのおおきな取り組みです。協会の活動は、絶対に質を下げないという気持ちで、ダム風力を中心として自然保護運動に頑張ってきたと思います。

佐々木副会長（2011年度決算報告の概要を資料にもとづいて説明した。）

正味財産増減書をご覧ください。昨年度収入が70万円減りました。赤字です。団体会員の会費が大きく減ったことで収入が減りました。

山本監事から監査報告が行われた。

会計収支および財産状態は正しく記載されています。事業報告の内容は真実であると認めます。理事の職務執行に関する不正は認められません。以上報告いたします。

◆ 第1号議案及び第2号議案について議長から採決の提案があり、拍手多数で承認された。

4. 第3号議案 理事および監事選任

第3号議案 理事および監事選任について佐藤会長より説明。

佐藤会長（選任案提出までの経過について配布資料にもとづいて詳細に説明し、下記の理事選任案と監事選任案を理事会案として提出した。）

理事選任案：矢部和夫、出羽寛、池田透、森田正治、畠山武道、横山武彦、落合克尚、福地郁子、佐々木克之、荻田雄輔、大久保フヨ、江部靖雄、在田一則、竹中万紀子、石川幸男、白木彩子、佐藤謙、以上17名を理事とする。

監事選任案：中根恵美子、山川泰弘、以上2名を監事とする。

議長から第3号議案について採決の提案があり、拍手多数で承認された。

ここで総会は休憩に入り、新理事・監事による2012年度第1回理事会が別室で行われ、新役員の選出がおこなわれた。

総会再開し、佐藤会長から新役員（下記）の発表が行われた。

会 長 佐藤 謙

副会長 佐々木克之、在田一則

常務理事 江部靖雄、福地郁子、矢部和夫、荻田雄輔、池田 透

監 事 中根恵美子、山川泰弘

この後、昨年度で役員を退任された中で出席されていた伊達理事、山本監事よりご挨拶があり、大きな拍手でこれまでの労をねぎらった。

5. 4号議案 2012年度事業計画および予算案

長谷川議長 それでは、次に第4号議案 2012年度事業計画および予算について審議します。まずは事業計画について佐藤会長に説明・提案をお願いします。

佐藤会長（資料にもとづいて2012年度の事業計画について説明）

10ページをご覧ください。広報事業は会誌、会報、HP等、質を下げないように頑張ります。普及事業は夏休み自然観察記録コンクール、自然保護講演会、自然保護大学、自然を語る会、勉強会が適宜開催されます。それからサンル・平取・当別の3ダム建設に関して、特に佐々木副会長を中心に次の総会までにダム問題を徹底的に検証した本を出版する予定です。

調査・研究事業と運動・提言はここにあげたものはこれまで取り組んできたテーマの継続になります。他方、予想もつかないことが突発的に飛び込んでくる場合があります。場合によってはそれに重点を置かなければいけないこともあります。ダム・風力開発事業の問題、森林の生物多様性を守ること、すなわち森林の公益的機能と林業との関係が大きなテーマの一つです。会員拡大の関係からいえば環境教育に関する研究や身近な自然の実態調査が重要です。基本的には従来取り組んできた取り組みについて、質を落とさず発展的にやりたいという気持ちがあります。

会員 原発に一言も触れなくていいのでしょうか。風力とエネルギーに関して深い関係があります。

佐藤会長 協会は組織なので、どこまでも皆さんの意見を合わせて、皆さんで決めていきます。原発は入れられるかといわれれば、会員の合意で入れることができます。原発は電力が得られるというメリットがある反面、デメリットとしていったん事故が起これば人間の健康ばかりか生命を脅かし、野生生物や生態系全体にも大きな影響を与えてしまいます。原発は重大な環境問題の一つです。

協会としては自然保護を中心に、そのことに影響を及ぼすものとして原発問題をとりあげたい。そのような形になるのではないかと私は思います。このことは理事会として考え、総会として考えていきたいと思っています。

会員 原発問題は触れておく必要があるのですが、会長提案の内容で運動のなかに入れることが大切だと思います。協会の活動で環境教育を小中学校で行う方法を模索してほしい。今は小中学校も行事等で目いっぱいなので、なかなか小中の教育現場に行って環境教育を行う場がつかれない。

現在会員が減ってきて、気になっているところです。北海道の自然保護の団体としては会員が多いのですが、少なくとも1,000名以上の会員数になればいいと思います。どうやって会員を増やせばいいのかわからないが、後継者を増やすという意味でも若い人に加入してほしい。女性会員も男女比率からみてもまだまだ増やしていく必要があると思います。運動の中で男とは違う意見を持っているので、女性が増えればもっと充実すると思います。

佐藤会長 どうやって女性会員を増やすか、皆さんで工夫が必要です。お母さんが加入すればお父さんも入ってきます。協会は行政に対

◇議案4：2012年度予算

予算計画（2012年4月1日～2013年3月31日）

一般会計

(円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 勘定科目 | 決算額 | 勘定科目 | 決算額 |
| (特定資産運用益) | (4,000) | (事業費) | (3,175,800) |
| 預金利息 | 4,000 | 給与手当 | 687,600 |
| (会費収入) | (3,535,000) | 諸謝金 | 240,000 |
| 個人会費 | 2,500,000 | 会議費 | 9,000 |
| 団体会費 | 1,035,000 | 旅費交通費 | 130,000 |
| (事業収入) | (600,000) | 通信運搬費 | 396,400 |
| 普及啓発事業収入 | 600,000 | 消耗品費 | 7,600 |
| その他収入 | 0 | 印刷製本費 | 867,600 |
| (寄付金収入) | (250,000) | 水道光熱費 | 90,000 |
| 寄付金 | 250,000 | 賃借料 | 679,600 |
| (雑収入) | (200,000) | 図書研究費 | 3,000 |
| 受取利息 | 5,000 | 支払手数料 | 1,000 |
| 雑収入 | 195,000 | 雑費 | 64,000 |
| | | (管理費) | (1,413,200) |
| | | 給与手当 | 458,400 |
| | | 法定福利費 | 3,000 |
| | | 会議費 | 12,000 |
| | | 旅費交通費 | 160,000 |
| | | 通信運搬費 | 31,600 |
| | | 消耗品費 | 4,400 |
| | | 印刷製本費 | 45,400 |
| | | 水道光熱費 | 90,000 |
| | | 賃借料 | 430,400 |
| | | 諸会費 | 54,000 |
| | | 支払手数料 | 114,000 |
| | | 雑費 | 10,000 |
| 収入合計(A) | 4,589,000 | 支出合計(B) | 4,589,000 |
| | | 当期経常増減額 | 0 |

して理屈を述べて戦ってきましたが、そればかりでなくお母さんたちを巻き込んで感性に訴える方法も工夫しなければいけないと思っています。出羽さんいい知恵がありますか。

出羽理事 環境教育の問題と関連してひとつの事例を紹介します。旭川の突哨山では過去にゴルフ場計画があった、市民の保護運動の結果、旭川市と比布町が自然環境保全を目的に買い取った経緯があります。その後、市民と行政と指定管理者で構成される突哨山運営協議会が作られ、市民主導で突哨山の保全と利用をどう進めていくか決めています。指定管理者は公園緑化協会から、NPO もりねっと北海道に替わりました。新しい指定管理者は、草刈り等の管理だけではなく、生態系調査や市民への情報発信等のソフト面を重視した活動を行っています。この中で地元の小学校一校が総合学習の時間を利用、全学年が年間を通じて今年から突哨山歴史、自然や保護活動の学習に取り組んでいます。この取り組みの行われた理由の一つは女性の校長が野外学習に意欲がある人で積極的に取り組んだことです。こうした活動は親が参加すると子ども入るとありますが、逆に今回の例のように学校で子供達に取り組むことで親の参加を促す方法も有効だと思います。この活動はNPO もりねっとが全面的に協力しています。どこの学校も忙しいので、自然保護協会から積極的な働きかけをしないと成功していかないという事例です。

会員 円山公園の川に行くと子供たちが喜ぶ。虫を見てとても喜ぶ。旭ヶ丘高校のイベントで堺川の生き物をみせたら子供たちがとても喜んでいました。実際に生き物に触らせることが非常に大事です。そういう子供たちに対する働きかけをどこかのグループでやれたらいいなと思います。もうひとつ私は地震との兼ね合いで地質の話も学習会で聞きたいです。

佐藤会長 地震と地質の話題は去年の自然保護大学で平川先生からありました。こういう要望は普及事業にすぐ取り入れられます。子供さんと親御さんを引き込む、体験させることについて、会員・理事のどこかで主導的に取り組むか自分たちでグループをつくって対応してもらうようなしくみを進める必要があります。そういった意味でこのような環境教育の場をもうけることを理事会で話し合ってみます。そのテーマを理事会で引き受けさせていただきます。

議長から第4号議案の2012年度事業計画について採決の提案があり、出席者全員の挙手にて承認。

佐々木副会長 (資料にもとづいて2012年度予算について説明)

会員減のため今年度は458万円の収入を見込んでいます。予算経常(支出)は458万円で計画しています。全体に縮小予算になっています。個人会費が増えれば、また増額できます。支払手数料ですが昨年度決済が5,000円なのに今年度予算が11万円になっています。これは法人移行で専門家をお願いしているため今年だけのものです。

議長から第4号議案の2012年度予算について採決の提案があり、出席者全員の挙手にて承認。

6. その他

会員 風力発電問題を考える石狩市民の会と共同で署名活動をしました。石狩海岸管轄の北海道知事に風力をやめて石狩海岸の自然を守ってほしいという要望です。協会から全面的な協力と強力な支援をいただいて7,825筆の署名を集めました。3・11以降は署名が減りました。原発事故以来、再生エネルギーが必要と考える方が増え、地熱発電で国立公園に穴を掘るとかの話題がおおくなりました。太陽発電に必要なレアメタルを掘って、その残土の重金属で現地では健康被害が起こっています。風力も問題があります。海岸の砂浜は荒地ではなく大切

な自然です。風と植物と砂の作用でできた砂丘を風発は台無しにするというマイナス面があります。そのようなことに声を上げたのがこの運動の始まりです。協会には運動の仕方等で大変お世話になっています。今後とも運動の支援をよろしくお願いします。

エコパワー(株)がウインドファーム計画を示してアセス方法書を縦覧しました。石狩で説明会も行いました。エコパワーの99%の株はコスモ石油が持つ実体のない会社です。工業団地から防波堤まで1,600haの敷地に3万kWのウインドファームを計画しています。しかし、風車の規格、数、規模、設置場所が不明のままです。10月に風力発電環境アセス法が施行される前に駆け込み申請をするために、このような計画が出されました。風力発電協会は今年2月22日に経産省に規制緩和の要望書を出しました。申請準備書に時間がかかりすぎるから短縮せよ、防風林規制を取り払え、仕掛事業がアセス法実施で中断するのはやめよという内容です。資源エネルギー庁はこの要望をすべて受けいれて省令案を準備しパブコメを求めています。今まだ準備段階です。規制緩和について3月にこの会社はアセス方法書の縦覧を行いました。規制緩和を閣議が決めたのは4月3日です。閣議ですら決めていないのに、もう決まったような顔をしてどんどん計画を進めているのがこの会社の実態です。わずかな電気をつくることによって、貴重な自然がなくなってしまうのかということの問題にしたいとおもいます。

(株)グリーンパワーインベストメントは防波堤の沖に最大10万kWの風発計画を出しました。バックはソフトバンク(株)です。電気を東京に送るという計画で地産地消とは程遠い計画であり、そのために北海道の自然が破壊されても関係ないという姿勢なので、これも反対していかなければならないと思っています。

長い時間ありがとうございました。協会の皆様には今後とも協力をお願いします。

2012年度 自然保護講演会開催のご案内

多くの人々にクリーンなイメージで環境にも優しいと信じられている風力発電。しかしながら、その実態はどうでしょうか？ 風車の回転が空気を切る音の問題、野鳥が風車に衝突して死ぬバードストライクの問題、また建設する場所の自然を改変してしまう自然環境保全の問題等数々の課題を抱えているのが実情ですが、残念ながら多くの人々には知らされていません。

これらの問題を「ストップ!風力発電」としてまとめられた本を出版するなど精力的に情報発信を行われている鶴田由紀さんをお迎えして、下記の要領で講演会を開催します。多くの方々の参加をお待ちしております。

記

演 題：「風力発電の現状と課題」－特に洋上風力発電について－

講 師：鶴田 由紀 氏 (フリーライター)

日 時：2012年9月30日 14:00～17:00

場 所：北大学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)

参 加 料：無 料

申込み・問合せ：北海道自然保護協会 TEL(011)251-5465 FAX(011)211-8465 E-mail info@nc-hokkaido.or.jp

鶴田由紀氏のプロフィール (主婦・フリーライター、熊本市在住)

1963年 横浜生まれ

1986年 青山学院大学経済学部経済学科卒業

1988年 青山学院大学経済学研究課修士課程修了

訳書 ヴァンダナ・シヴァ『生物多様性の危機』(共訳) 明石書店

「沿岸陸上の津波堆積物から過去の巨大津波を探る」見学ツアーの予定

各地で過去の津波堆積物を調査されている、平川一臣北大名誉教授を講師に日高方面への見学ツアーを企画中です。10月中旬予定の1泊2日、費用(バス代、宿泊代、保険料など)などは未定ですが、詳しく決まり次第協会ホームページなどでお知らせいたします。

また、協会に直接お電話などでのお問い合わせは詳細が決まる9月末にお願いいたします。

2012年度「自然を語る会」などのお知らせ

「自然を語る会」

夕方ひと時、「自然を語る会」として、自然について様々な話題を提供してもらい話し合う会を開いて5年目になります。常連の方も少しずつ増えてまいりました。今年度も8月から始め12月まで、5回の開催を予定しております。12月までの実施日とその話題をお知らせいたします。

下記の要領ですので、気軽にお誘い合わせの上ご参加いただけますよう、お待ちしております。

① 8月30日(木)「エゾシカ対策を考えてみよう」

佐々木克之(北海道自然保護協会副会長)

【要旨】 エゾシカが大幅に増えて、農作物だけでなく、森や高山植物などへの悪影響が懸念されています。道は対策室を設置して、「獲って食べよう」キャンペーンをしています。エゾシカによる被害や道の資料を見ながら、エゾシカ対策をどうするのか、皆さんと一緒に考えてみたいので、多くの方々にご参加されることを期待しています。

② 9月27日(木)「絶滅しそうな水草・ヒナミクリを例にして」

山崎真美氏(札幌市博物館活動センター・学芸員)

③ 10月18日(木)「外来種ニセアカシアを取り巻く言説の科学的根拠、およびニセアカシアの社会的位置づけ」

真坂一彦(道総研林試験場森林環境部環境グループ主査)

④ 11月29日(木)「石狩に集中する風力発電施設」

落合克尚(北海道自然保護協会理事)

⑤ 12月13日(木)「湿原や草原における夏鳥の減少」

玉田克己(道総研環境科学センター・自然環境部生態系保全グループ主査)

会 場：北海道大学学術交流会館・会議室(札幌市北区北8条西5丁目)

曜日と時間：いずれも木曜日の18:00～20:00

定 員：50名 参加費：無料

申込み・問合わせ：北海道自然保護協会 TEL:011-251-5465 fax:011-211-8465

【注意】 演者が配布資料を用意する場合、準備の都合がありますので事前に申し込んでください。

「2012年度自然保護大学」の実施日時のお知らせ

毎年恒例の自然保護大学について、実施日時が決まりましたので、ここにお知らせいたします。テーマや講師は未定ですが、詳しく決まり次第、会報NCなどでお知らせします。会場は2日間とも北大学術交流会館会議室です。

1日目(3講座)：2013年1月26日(土)13:00～18:00

2日目(2講座)：1月27日(日)9:00～13:00

第19回夏休み自然観察記録コンクールのご案内

北海道自然保護協会では、北海道新聞社・北海道新聞野生生物基金との共催により、北海道教育委員会の後援を得て、「第19回夏休み自然観察記録コンクール」を計画いたしました。応募方法は下記のとおりです。

募集テーマ 身のまわりの自然をよく見て作文や絵にくわしくかいてみよう

応募資格 道内に在住する小学生

応募規定 作文用紙は自由な規格。低学年は絵日記ふうなまとめ方でもよい。

絵は画材、用紙、大きさ自由、 応募票(題・学校名・学年・氏名)を添付

応募先 〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目 加森ビル5

(一般社団)北海道自然保護協会 (TEL)011-251-5465 (FAX)011-211-8465

応募期間 2012年8月1日(水)～9月20日(木) 郵送、または持参(土・日祝を除く)

主催 (一般社団)北海道自然保護協会、北海道新聞社、(財)北海道新聞野生生物基金

後援 北海道教育委員会

活動日誌

2012年4月

- 1日 新法人移行登記
- 11日 2011年度第8回拡大常務理事会
- 14日 風力発電関係団体打ち合わせ会議
- 17日 道南・七飯町水無沢川床止工等工事予定地説明会
- 18日 会誌50号・会報NC153、総会開催案内等発送
- 22日 札幌南区小林峠トンネル残土処分第二回住民説明会出席
- 24日 北海道高山植物保護ネット2012年度総会・代表者会議出席
- 26日 北見道路第2次裁判4回口頭弁論傍聴
- 27日 「北見ももんが訴訟-北見道路訴訟の歴史的意義」橋本良仁講師講演会

2012年5月

- 12日 2011年度第4回理事会、2012年度通常総会、2012年度第1回理事会
総会記念講演会「湿原をはぐくむ霧と雪-石狩低地帯でみられる湿原景観の地域間差異-」講師：矢部和夫氏
- 16日 銭函風発計画に関わる札幌市との第4回話し合い
- 18日 石狩市床丹川治山ダム予定地河川状況・植生概況の調査
- 23日 二風谷川・富川水害訴訟控訴審最終結審・意見陳述傍聴
- 25日 北見道路ももんが第1次訴訟13回口頭弁論傍聴
- 26日 2012年度北海道自然保護連合代表者会議出席

2012年6月

- 3~5日 北見道路建設による現地生物多様性への影響等の植生調査
- 4日 エゾシカ保護管理検討会・計画推進部会傍聴
- 8日 エゾシカ保護管理検討会・指数検討部会傍聴
- 14日 2012年度第1回拡大常務理事会
- 20日 総合学習講師派遣（札幌市立伏見小学校）

要望書など

- 4月25日 川端総務大臣宛【札幌市の水道水使用水量推計の確認を取り消し科学的な推計を求める要望書】当別ダム周辺的环境を考える市民連絡会と連名で提出。
前田国交大臣・北海道開発局長宛【札幌市の水道水使用水量推計の確認を取り消し科学的な推計を求める要望書】当別ダム周辺的环境を考える市民連絡会と連名で提出。
細野環境大臣・北海道地方環境事務所長宛【札幌市が計画している「豊平川水道水源水質保全事業」を認可しないことを求める要望】当別ダム周辺的环境を考える市民連絡会と連名で提出。
鹿野農林水産大臣・林野庁長官・北海道森林管理局長宛【札幌市が計画している「豊平川水道水源水質保全事業」を認可しないことを求める要望】当別ダム周辺的环境を考える市民連絡会と連名で提出。
前田国交大臣・有識者会議中川座長宛【今後の治水対策のあり方に関する有識者会議の公開を求める緊急要望書】北海道脱ダムをめざす会名で要望書提出。
- 5月12日 エコ・パワー(株)宛【石狩湾新港ウィンドファーム(仮称)事業「環境影響評価方法書」に対する意見と理由】提出。
- 5月17日 国交大臣宛【国民に公開できない「今後の治水対

策のあり方に対する有識者会議」を廃止して、ダム問題を国民目線で検討する組織の設置を要望する】北海道脱ダムをめざす会名で提出。&道政記者クラブにて記者会見。

新入会員紹介

2012年3月～2012年4月

- 【A会員】葉柴 京子、国忠 崇史、榎本 勝雄
島崎 恵子、多田 勝
- 【B会員】島崎 桂吉

寄贈図書紹介

- ・北海道大学出版会さんより
「環オホーツク海地域の環境と経済」田畑伸一郎・江淵直人編著
- ・梅沢俊さんより
「北の花名山ガイド」北海道新聞社
- ・小泉武栄会員より
「図説 日本の山 自然が素晴らしい山50選」朝倉書店
- ・秋山雅彦会員より
「気候変動の現在、過去そして近未来-地球温暖化問題を考える-」地学団体研究会

寄付金

ありがとうございます

| | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 幌村 司さん | 6,000円 | 五十嵐敏文さん | 6,000円 |
| 松野 誠也さん | 5,000円 | 吉尾 勉さん | 5,000円 |

編集後記

今回は、昨年4月から弘前大の白神自然環境研究所へ行かれた石川理事に白神山の様子を書いて頂きました。皆さんご存知の様に石川さんは知床自然遺産の植物の調査・研究もされています。二つの自然遺産を研究者として見られる方も少ないと思います。これからも機会を見て書いて頂きたいと思います。
最近の日本国内の動きを見ていると、エネルギー問題だけでなく財政問題や年金・社会保障問題などこれまで先延ばしや隠されてきた問題等が昨年の東日本大震災・原発事故を機に一気に噴出してきた感があります。海外からは本当に日本はここで変わることができるのか？と注目されているとのこと。やはり我々一人ひとりが声を挙げ、自分達の進むべき方向を他人任せにしないで明確にしていくことが求められています。

(編集委員 荻田)

会費納入のお願い

会費納入については日頃ご協力をいただいておりますが、未納の方は至急納入下さいませようお願いいたします。

| | |
|---------------|---------|
| 個人A会員 | 4,000円 |
| 個人B会員 | 2,000円 |
| (A会員と同一世帯の会員) | |
| 学生会員 | 2,000円 |
| 団体会員 1口 | 15,000円 |

〈納入口座〉

| | |
|---------------|--------------|
| 郵便振替口座 | 02710-7-4055 |
| 北洋銀行本店営業部(普通) | 0017259 |
| 北海道銀行本店(普通) | 0101444 |

〈口座名〉 社団法人 北海道自然保護協会

2012年7月25日発行 一般社団法人北海道自然保護協会・佐藤 謙 ☎060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル5 6階

NC7月号 No.154 ホームページ: <http://nc-hokkaido.or.jp> ☎(011)251-5465 FAX (011)211-8465 Eメール: info@nc-hokkaido.or.jp
会費 個人A会員4,000円 個人B会員2,000円 学生会員2,000円 団体会員一口15,000円 郵便振替02710-7-4055 印刷(株)フロンティア企画印刷

※ この紙は再生紙を使用しています。

